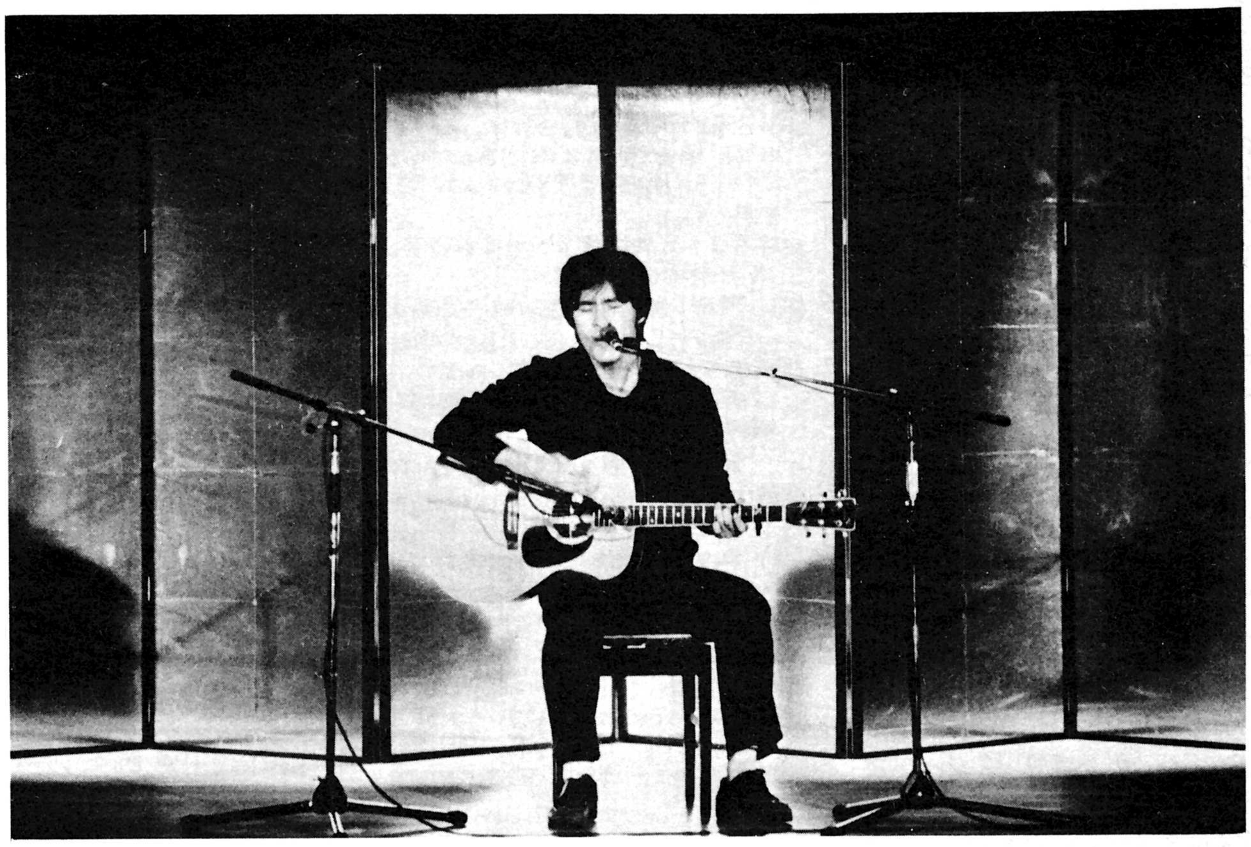
河原龍峰

地道なライブ活動を続ける



▶ああ！熱唱……

君は 河原龍峰を知ってる?! 彼は岡大正門前のペパーランドを中心にライブ活動を続けるフォークシンガーなんだ。ただしアマチュアだけどね。ライブで飯食ってるんではなくれっきとした本職があるのです。心理判定員という仕事をなさっている。なんでも精神障害者の療養にかかわる仕事だそうだ。彼は京都の立命館大学の文学部哲学科で心理学を勉強して地元岡山へ戻ってきた。

彼にいろいろ話をうかがいました。

――ここ(ペパーランド)でライブをするようになったきっかけは？

(河) 友人が岡大でね、ここの常連だったんです。ぼくはそいつに誘われて帰省した時なんかよくここに来てました。それである日「ライブやってみないか?!」って言われたのがきっかけでやるようになったんです。

――主にどういう傾向の音楽を聴きますか？

(河) フォークばっかりというのではなくいろんな音楽を聴きます。ロックではクラプトンとかツェッペリンなんか。ミーハーといわれますけど松田聖子も聴きます。(笑) 僕が小四のとき近所の人の影響でベンチャーズを聴いたのを覚えてるなー。それからビートルズも もちろんよく聴いた。

――ギターはいつ頃からやり始めたのですか？

(河) 高校2年のときかナー?! 拓郎とか陽水を友人がやり始めてさ、「自分もやろー」って気持ちになって ついギターを買ってしまったんだ。

――山が好きだそうですね?!

(河) ええ、学生時代は1年のうちの1/3は山に登っていました。登るときは大体1人で登りました。それで山登りの費用を稼ぐためにバイトをよくやりました。

――登山部には入らなかったんですか？

(河) 組織に属することがイヤだったからね。当時は学生運動が激しい時期だったしね。

――歌詞には山のことをよく書きますか？

(河) それほど書かないなー。山のことを書いたものもあるけど…。

――ライブを通じて聴き手に何を伝えたいですか？

(河) 何かを伝えるというのはしんどいなぁ～。どういったらいいかな、人間のもやもやした部分をぼくは歌いたいんだ。そして、聴き手にそれをこじつけずにそのまま感じて欲しいんだ。

――大きいコンサートホールとライブハウスではどちらがいいですか？

(河) 大きいのだと聴き手がかまえてしまう。けど小さいとこだとそんなこともないから小さい方がいいと思う。

――ライブはどういうふうに行なわれるのですか？

(河) そうだね、時間にして約1時間くらい。歌う曲は12曲くらいで全てオリジナルです。オリジナル以外ではまあ 田中一ムさんとか有山淳司さんのをやります。

――どうもありがとうございました。

● 最近はライブが減ってきてるそうだ。客層の問題なんかも原因の1つだそうだ。ライブはメッセンジャーと情報の受け手とのコミュニケーションがあるので T.Vやレコードとは一味ちがった味わいがあるものなのに、数少なくなりつつあるとは さびしいことだ。

もしも……

☆「岡大の近くにミニFM放送局ができたなら…」

東京は青山にミニFM放送局ができて 今とても話題になっているのを知ってるかナ?! 大学生が中心に技術のことやDJなど全部自前でやるのだけど、こういうことを岡山でやったらおもしろいだろうな。

放送ステーションは 大学のBox内におく。アンテナはBox屋上に立てる。スタッフはいろんなとこから集める。DJは一般公募でもいいし 放送文化部の人に依頼してもいい。専属のバンドもつくりたい。軽音や その他のアマチュアバンドにたのむ。放送時間帯は夜9:00～12:00くらいにして、下宿してる人や大学周辺のヤングの聴取率をかせぐ。スポンサーはレコード店や大手の電気屋さんにたのむ。最初は赤字覚悟だけど そのうち雑誌などに紹介されてぜったいに話題になると思う。

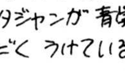
でも今の岡山の文化レベルだと無理だろうな。(民間のFM局ができないからなぁー。)

岡山の文化人よ！ 奮起せよ!!

東京・大阪に負けるな！

☆「岡大のトレーナーができたなら…」

岡大のトレーナーは無いけど一部のテニスサークルが自分たちのサークルのトレーナーをつくっている。なかなかかっこいい！ テニスのときだけじゃなく普段着にもいける。そんなにいいものなら一部のサークルだけに独占させておくのはもったいない。共済会でトレーナーをつくって売れば岡大のいい！デザインは美術部とかにしてもらって大々的に売り出すのだ。青学(青山学院大)では生協がうり出したスタジャンが青学生のみならず一般の若い人にすごくうけているらしいから岡大でも…?!。



このコーナーに皆さまからのおハガキをお待ちしております。採用の方にはすばらしい賞品はありません。そのかわりこの新聞にのせてあげるからねー。

『もしも岡山にミニFM局ができたなら』の話を書いているうちに、本当にミニFM局ができちゃった。(これには おどろいた！)

これはRSKの関連会社の1KC内の人がつくったもので その名も RPC RADIO FM というのだ。あたりまえのメディアにさようならってことでつくったのだそうだがなかなかユニークだと思うね。周波数83.4MHzで夕方5時半～6時半頃に ON AIRされてる。聴取可能範囲は半径500mくらいの地域でこれなら法律に違反しないのだそうだ。場所は岡山市丸の内1-7-1 丸の内ビル3F

1KC内「RPC」

◇ ◇ ◇ ◇

アウトドアーショップ『BARCO』オープン

先日、イラストマップを作るために大学周辺を歩いていたら保育所前の道を入ったところに新しいお店が出現していてビックリした。

名前は『BARCO』、なんかパルコみたいだね。アウトドアーショップと名打っているけど商品はウィンド・サーフィンボード、スノーボード、ダイビング用品、キャンプ用品とバラエティに富んでいる。建物は海のコンテナを使ったとてもシャレたもの。岡大の近くにはちょっと不釣合なほどでした。

スケジュール

○新歓ダンスパーティー
4月22日 DISCO PARTY
16:30－19:30 ¥300円
4月23日 SOCIAL DANCE PARTY
16:00－19:00 ¥500円(ドリンク付)
両方とも学館ホール (主)社交舞踏研究部

○スターリン in 岡大
5月17日(火) 18:00～ 学館ホール
前売り1300円，当日1500円
出演：スターリン，肉弾，安楽死
(問) Rock喫茶コマンド ☎33-4862 ナオ

去年、熊本大では学館使用不許可の弾圧をくらった。バリバリのパンクロック「吐き気がするほどロマンチックだぜ」

いっしょに岡大新聞を作ってみませんか

編集スタッフ大募集♀

今年度最初の岡大新聞いかがでしたか。内容のバラエティーに富んでいることや紙面レイアウトの自由さなど みなさんがこれまで"学校新聞"というものに対して持っていた「固苦しい」とか「マジメ」、「政治的」といったイメージとはだいぶ違うのにおどろかれたのではないでしょうか。私たちは岡大の唯一の新聞として、全ての学生教職員のみなさんに読んでもらい、楽しんでもらう紙面作りをモットーとしているのです。

去年はスタッフがなんと全部で4人！しかもみんな理系の学生、院生という忙しい人たちが、留年もせず、単位も落とさず、バイトもしたしてきとーに遊びもしながら月刊のペースで平均8ページの岡大新聞を発行してきました。もちろんしんどい時もあったけど、新聞作りなんてけっこう楽なもんですよ。そして今年は岡大だけでなく、他大学とのネットワークももっと強化して、岡山の学生メディアへと発展させようと意気込んでいます。

そこでいっしょに岡大新聞を作っていこうという人を求めています。マスコミに興味のある人、ミニコミを作りたいけど一人ではどうもという人，新聞記者をやってみたい人、スポーツニュースを書きたい人、写真やイラストをやれる人、何もできないけど何かやってみたいという人、ぜひ新聞会へ来て下さい。Boxは新サークル棟1F 112号室、毎週土曜日の午後に編集会議をやっていますし、平日でも夕方はいるはずです。

☆ご注意「岡山大学津島新聞部」なる未公認団体と当会は一切関係ありません。

FROM EDITORS

わたくし何を隠そうただ今岡大工学部2年かつ岡大新聞の編集スタッフをしております。

おもえばあれは昨年9月下旬ごろ，某タウン情報誌にハガキを出したのがきっかけで岡大新聞の編集長にスカウトされたのでありました。ハガキには"ミニコミをやりたいから作り方等を教えて下さい！"と書いてあったのがどういうわけかこの岡大新聞から声がかかったのです。「まあミニコミもしんぶんも大して変わらへんやろー」と気軽な気持ちで引きうけて，大学祭特集号なんかに記事を書きました。でも，その気軽な気持ちがいけなかった。1つの新聞を出すということがどんなに大変なことかというのをわが身をもって体験したのであります。何が大変かというとですね，まず取材！。"あなたは大学祭に来ますか"というタイトルで岡大生にいろいろインタビューしたんだけど 初めてのことなので こちらの声はうわずるし，女の子からは「もうやめて下さい！」と冷く言われるし それはそれは本当に悲惨だったヨ。取材した記事をもとにいよいよ原稿かき，レイアウトなどする。原稿用紙は使い慣れてるつもりだったが，指定のし方のまずいとこがあったりして文句を言われもした。レイアウトは全然自分のセンスがないと実感した。

以上のようないきさつでこのミニコミっぽい紙面をわたくしが書くことになったのです。(ハー疲れた!!) それにしてもスタッフ2人とは少なすぎるよ――――！(のぶ)

4月は楽しい新歓シーズン。「いらっしゃいませ」という感じで大きく開けてある新聞会Boxのドアの外を毎日多せいの1年生が、のぞき込もうともせずに通りすぎていく。ちなみにうちの横町、ご近所は映研と放送文化と書道です。

こら！のぶ君よ、スタッフ2人なんて書いたらますます新入生が入らなくなるじゃないか。うちらの他にもちゃんと，りせ君は合コンの記事にアドバイスしてくれてるし ぼやき君もオリエンテーションでビラまくのを手伝ったんだぞ。でも正味2人で12ページの新聞を作れるということは，いかに新聞作りが楽なのか，という証明にもなるけどな。とにかく早く新入生の人、入ってくださいね！ 〈Nossy〉